



韓国西帰浦市とオンライン交流を行いました。



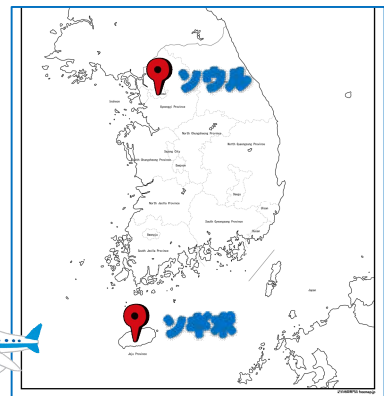
令和7年3月12日(水)に、鹿嶋市役所において、姉妹都市である韓国西帰浦市とオンラインによる情報交換会を開催しました。

このオンライン交流は、世界的な取り組みである男女共同参画について西帰浦市の状況や取り組みを学び、相互理解を深めることを目的として行いました。

鹿嶋市から5人、西帰浦市から6人の委員が参加し、男女共同参画推進の状況について情報交換を行いました。

基本情報

- 位置:** 済州(チェジュ)島の南部に位置する都市
- 人口:** 192,034人(2024年12月現在)
- 面積:** 870km²(鹿嶋市の約8倍)
- 時差:** なし(鹿嶋市と同じ)
- 通貨:** ウォン
- 産業構造:** サービス業、農業、漁業、建設業
- 姉妹都市提携日:** 2003年(平成15年)11月26日
- 2024年(令和6年)7月19日(金)から、済州国際空港と成田国際空港を結ぶ直行便が週3回(水、金、日)運航されており、飛行時間は約2時間10分。



©白地図専門店

【西帰浦市の男女共同参画政策基本計画】©西帰浦市

済州特別自治道 西帰浦市 2025年 実施計画(5大政策課題)

- 公務員の育児休職者数: 297人 * 全休職者 403人の 73.7%
- 共働き世帯割合: 60.5% * 全国平均 48.2%
- 乳幼児(7歳以下): 8,307人 * 道全体人口約67万人の 1.2%
- 児童(18歳未満): 26,007人 * 道全体人口約67万人の 4%



西帰浦市は、女性家族課という名称の組織で男女共同参画を担当し、鹿嶋市と同じように男女共同参画計画を策定して、事業を行っています。

鹿嶋市の委員からの「韓国の共働き世帯割合が平均48%、西帰浦市の共働き世帯割合が60.5%と、西帰浦市の方が高いのは、女性企業の就職が多いのか。」という質問に対し、西帰浦市女性家族課長からは、「済州島の特徴として、昔から女性は外で働いてきた。農業・漁業の仕事もあり、女性の就業率は国内の平均より高い数字になっている。」と話していました。



△写真: 西帰浦市の皆さん



△中央写真: (左) 西帰浦市女性家族課チョン課長 (右) 自治行政課日本交流担当キム氏



△写真: 鹿嶋市の男女共同参画推進委員

「市民意識調査」結果

【目的】本調査は、鹿嶋市男女共同参画計画（第3次）の計画期間が令和7年度末で終了するため、男女共同参画社会の実現に向けて、次期計画を策定するにあたり、市民の意識、実態等を把握するために実施しました。

【調査期間】令和6年8月7日から令和6年8月31日まで

【対象者】本市在住の18歳以上の市民（令和6年7月1日現在）から層化無作為抽出法により1,500人を抽出。（男750人 女750人）

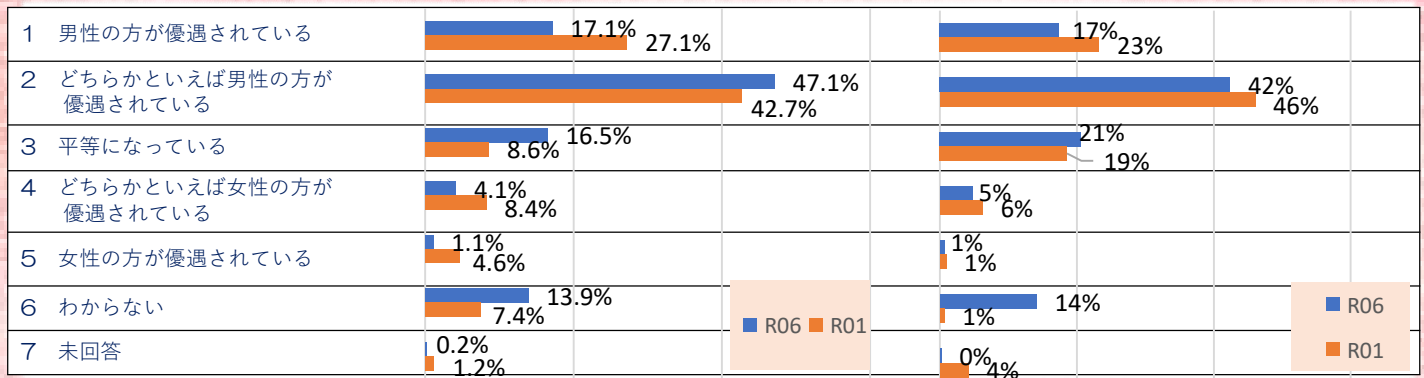
結果の一部について、報告します。

- ・男女の地位に関する質問では、家庭や職場などをはじめ、全体的に前回調査（令和元年度）に比べて男性優遇の意識は減少している。
- ・社会全体での男女の地位は、男性の方が優遇又はどちらかといえば優遇との回答が前回の73%から今回は69%に減少している。一方で女性の方が優遇又はどちらかといえば優遇との回答が、割合としては少ないながらも前回調査より増加している。

◇ 男女の地位の平等感

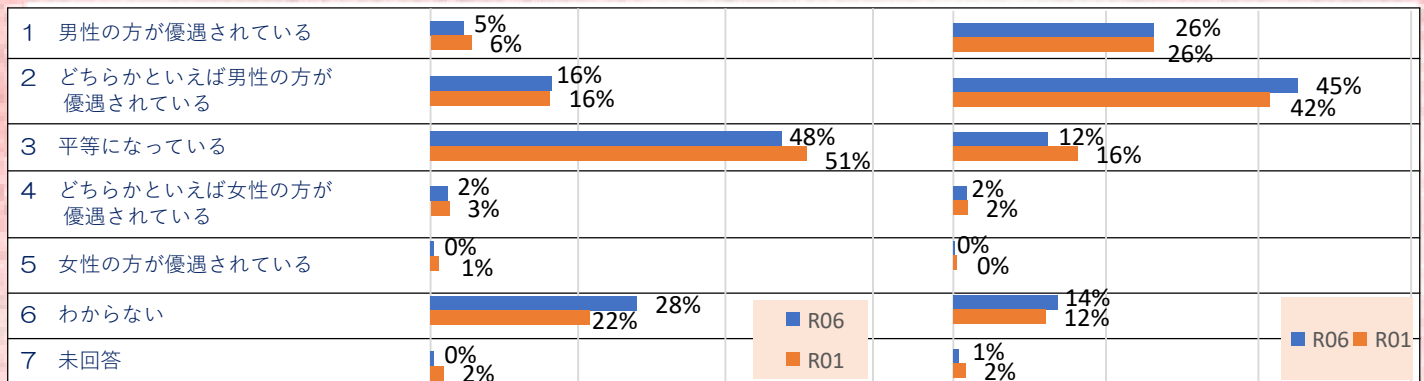
家庭生活（家事、育児、介護など）について

職場について



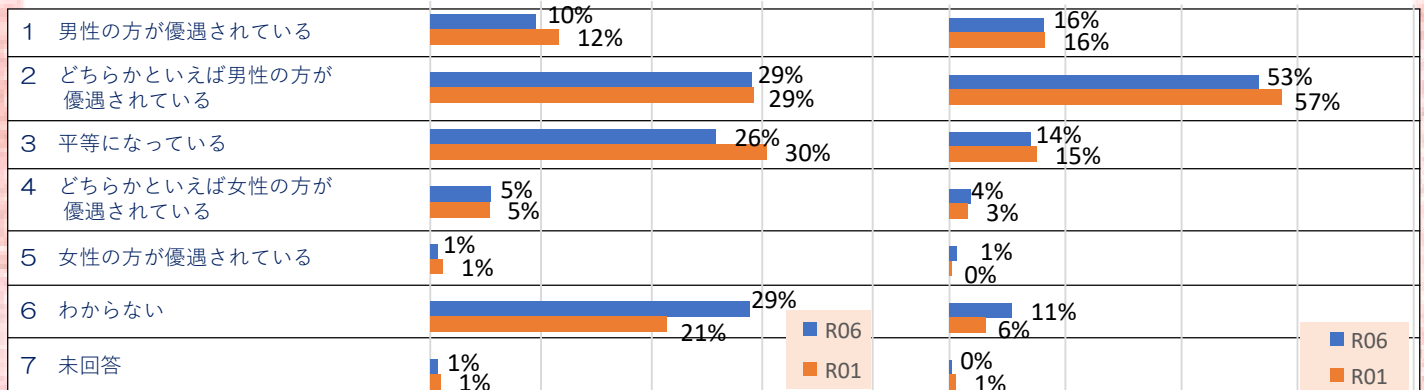
学校教育について

慣習・しきたりについて



地域活動について

社会全体について



ご協力ありがとうございました。

「起業支援講座」 起業の一步 私でもできるチラシ作り ～パワーポイントを使ってチラシの作り方をマスターしよう～

開催日: R7. 1. 22(水)～1. 23(木) @鹿嶋市役所

自宅で起業を考えている方が、イベントなどをPRする「チラシ」を自分で作成できるスキルを身につけることができるよう、パワーポイントを使用した集客チラシの作り方講座を実施しました。1日目は、パワーポイントを使ってテキストにある見本のチラシを作成し、2日目はテキストに沿ってパワーポイントでチラシを作る人と、自分がすでに作ったチラシを更新する人に分かれ、それぞれ作成する時間となりました。



【講師】

From One to Ten
代表 伊藤 晴美 氏

キャリアアップデザイナーとして独立起業。コミュニケーション・マインド・スキルアップ、パソコンスキル等、約60講座を開催。

参加者の作品

【Befor】
wordで
作成したチラシ



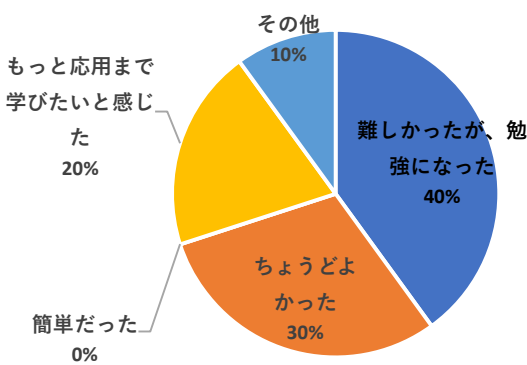
【After】

パワーポイントで
作成したチラシ

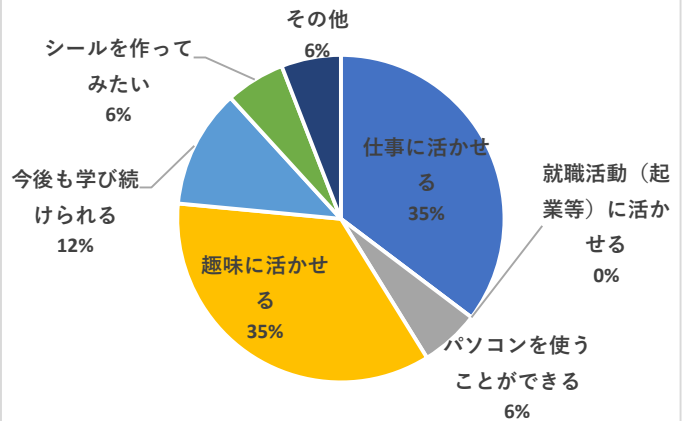


アンケート

受講してみてどうでしたか。



どんなことに役立てられそうか。



＜参加者の声＞

- ・テーマや目的を考えて作ることが大切だと知りました。字体やイラストで印象がとても変わったことにオドロキです。
- ・パワポの機能で知らないものがあり、勉強になりました。役に立ちます。テキストもわかりやすいのでわからないところはこれで勉強もできます。
- ・以前より自信がついた。テキストを参考にしながら更に良いチラシが出来そうです。



△講座のようす

キラキラ人

見つけた！

このコーナーでは、自分らしい生き方を実践し、キラキラ輝いている方を紹介しています。
今回は、コワーキング・コミュニティスペースみちくさを運営している松崎侑奈さんにお話を伺いました。



まつぎき ゆうな
松崎侑奈
さん

Yuna
MATSUZAKI

合同会社にしか 代表
グラフィックデザイン、移住相談、
コーディネーター業務を行う。
鹿嶋市宮中にてコワーキング・
コミュニティスペース
みちくさを運営している。



Q 鹿嶋市に移住したきっかけは何ですか？

海のある街での生活にあこがれていたことをきっかけに、鹿嶋市に移住しました。

2018年の夏から鹿嶋市地域おこし協力隊として活動を行いつつ、鹿嶋市に住み続けるために情報収集したり、自分の居場所をつくってきました。生活してみると、夢だった海のある街での生活のほかにも、衣食住のすべてにおいて生活しやすい環境であり、どんどん鹿嶋を好きになっていきました。結果的に隊員期間中に結婚し、鹿嶋市に住居を設けるなど、定住することとなりました。

Q 仕事をはじめようと思ったきっかけは何ですか？

コワーキング・コミュニティスペースみちくさを作ったのは、大きくいうと「恩返し」の意味を含めています。地域おこし協力隊の期間中、地域について何も知らない私を温かく、優しくサポートしていただいた地域の方たちへの恩返しを兼ねて、「気軽に集まれる場所」の提供をしたいと思い作りました。

併せてデザインのお仕事もさせていただいていますが、もともとデザインに関しては興味のある領域だったため、お役に立てればと思い活動しています。私がデザイン業を営むことで、デザインについて相談したり、挑戦の後押しをしたりと、鹿嶋市全体が底上げされていったら良いなと思っています。

Q 仕事の魅力について教えてください。

人が集まる場所を作っているのが、様々な人が来てくれることがまずすごくうれしいです。特にうれしいのは、知らない人同士で意気投合したり、お繋げした方々が笑顔で帰っていくこと。来てよかった、会えてよかった、話せてよかったと言ってくれることがうれしいです。

Q コワーキング・コミュニティスペースみちくさは、どんなところですか？

コワーキングスペース（仕事や勉強などをする場所）とコミュニティ・スペース（人が集まったり、話す場所）の機能を持った施設です。

イベントや事業についての作戦会議をしたり、セミナーやパーティ、チャレンジショップのように活用いただくこともある、自由度の高い場所をお貸ししています。一人で企画するのが難しい場合は、私がサポートしたり、知り合いをお繋げすることで挑戦の後押しをしています。

Q 今後の夢や展望、やってみたいことをお聞かせください。

誰もが生徒、誰もが先生になれる街の学校「みちくさ学校」を発展させていきたいです。みちくさオープン以来、私が主催するデザインの講座や利用者さんによる企画、イベント型の夏休み企画などはありましたが、まだまだ理想とは遠いです。地域に暮らす様々な方の好きや得意を表現する場所として、今後も続けていきます。

市民の皆さんに向けて、一言メッセージをどうぞ。

やってみたいこと、困りごと、仲間集めなど、どんなことでも一声ご相談ください。全力で応援＆サポートします！

コワーキング・コミュニティスペースみちくさ
の詳細はこちらから↓

